

～ 仲間とともに経営改善 ～
上田 伴都さん（八幡浜市）

上田水産 有限会社 1972 年生まれ



☆経営概況☆

魚類（マダイ・スズキ）養殖業

設立：平成 8 年、資本金 300 万円、従業員数 5 名（常勤 5 名）、所有船舶 5 隻

☆ここがポイント☆

■簿記の資格を駆使して経営管理

昔から海が好きで、父親の跡を継ぐのが夢でした。高校卒業後、広島の専門学校で簿記の資格を取得しました。その後帰郷して父の経営する魚類養殖会社に入社して、今の私があります。簿記をやってきたおかげで、会計等をまかされましたが、**年々高騰していく魚粉価格には辟易**して、「このままでは会社は赤字経営を余儀なくされるかもしれない」との不安がよぎり、一念発起で経営改善に乗り出すことに決めました。

■同業者を集めて生産コストの削減とマーケティングをめざす

そこで、同じ境遇に悩まされているマダイ養殖の後継者に声掛けをして、総勢 6 名で平成 28 年 4 月に「**八幡浜漁協ブランド推進協議会**」を結成して、その会長となりました。先ず取り組んだのが、平成 28 年度の**生産コスト削減のための低魚粉飼料の開発**でした。これには県の補助事業を活用し、一般的な飼料では 40～50%程度含まれている魚粉を 20%と 30%に削減した飼料の開発に成功しました。平成 29 年度には協議会の単独事業として、低魚粉飼料に肉質改善剤を配合した飼料を開発し養殖試験に取り組み、さらに**肉質、味の良いマダイの生産に成功**しました。平成 30 年度にも県の補助事業を活用し、この**養殖方法をマニュアル化**して、協議会構成員が生産するマダイの質の均一化を目指し、**ブランド化に取り組みました**。その成果として、「八幡浜産業まつり」に出展、さらには「シーフードショー大阪」へも出展して、それぞれ来場者への食味試験によるアンケート調査を行い、**好評な結果を得ることができました**。これを起爆剤として、協議会は生産だけでなく**マーケティングへも乗り出し**、大きく躍進することとなりました。

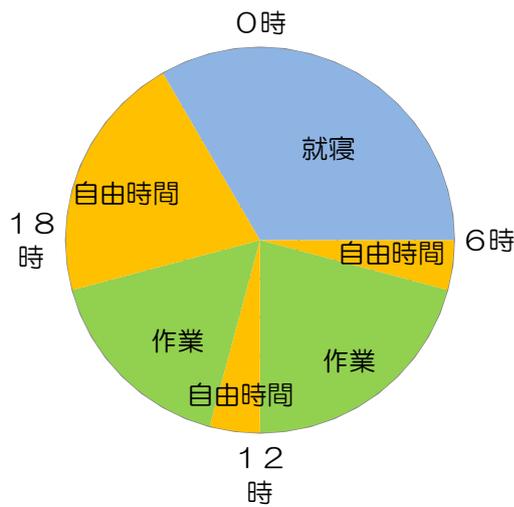


マダイへの給餌作業



シーフードショー大阪への出展

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

仕事柄、自然あふれる環境の中で適度に体を動かす業務が多いので、体調も良くご飯もおいしく感じます。睡眠時間も十分に取れています。夕方は早めに切り上げて家族サービスに努めます。家族サービスをしながらビールを飲むのが格別です。

暇があれば協議会のメンバーと一杯やるのも、団結力を強める良い機会です。

繁忙期も普通期も日曜日だけが休みです。生き物相手の仕事なので、年中ドタバタしています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】						
← 生産、出荷に関する業務等 →						↔ 1日休み ↔
【普通期】						
← 生産、出荷に関する業務等 →						↔ 1日休み ↔



協議会総会の様子



「みきゃんのとくてく愛媛うまいもん編」に出演

☆これからの夢や目指すもの☆

■地元「八幡浜市」を盛り上げたい！

協議会のメンバーは全員八幡浜人です。地元を愛する気持ちは誰にも負けません。皆は子持ちなので、その子たちのためにも現在の養殖業をより発展させ、「父ちゃんの跡を継ぎたい」と言われるよう地元を盛り上げていきたいです。

☆メッセージ☆

■漁業には将来性あり！

我々協議会のように、仲間と協力して研究を重ねることで漁業は発展することが解りました。やればやっただけ見返りは大きなものになります。やる気さえあれば、豊かな生活と人生が約束されるのが漁業なのです。